

# 情 報 公 開 文 書

研究の名称	神経疾患のバイオマーカーに関する研究
整理番号	R2017032 (臨 29-32)
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	附属病院 脳神経内科 中辻裕司
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 対象者は、富山大学附属病院脳神経内科、脳卒中センターおよび国立病院機構富山病院に通院されている16歳以上の患者さんおよび入院患者さん</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 神経疾患における診断・治療に役立つバイオマーカーの研究 病態が不明で、治療に難渋することの多い神経疾患に、より適切な診断と治療をもたらすことが期待される。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 外来受診時や入院中の様々な神経疾患患者の通常診療における検体採取での残余血清、髄液、尿を用いて炎症性・制御性サイトカイン、ケモカイン、セマフォリン分子群、白血球表面抗原、活性酸素（ROS）関連分子などの炎症関連分子を測定する。<b>加えて画像検査（MRI検査、核医学検査）および高次脳機能検査についてもバイオマーカーとして検討する。</b></p> <p><b>【研究期間】</b> 2017年6月28日～2032年5月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 学会発表および研究論文として報告する。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>神経疾患患者の通常診療における検体採取での残余血清、髄液、尿、便を用いる。測定項目はIL-6、IL-17、IL-10、TGF-<math>\beta</math>等の炎症性・制御性サイトカイン、CXCL13、CCL20等のケモカイン、プロスタグランジン、免疫細胞の分化・増殖を促すセマフォリン分子群、ATP、成長因子、白血球表面抗原、キサンチンオキシダーゼ、ミエロペルオキシダーゼ等の活性酸素（ROS）関連分子、ヘリコバクターやEBウイルスなどの微生物に対する抗体である。便に関しては有機酸の解析や菌叢の解析を行う。例えばタイプIインターフェロンなど富山大学で測定困難であるが大阪大学で測定可能な場合は検体のみを個人が特定できない状態で大阪大学に送付し測定結果を富山大学に通知いただく。これらのうちキサンチンオキシダーゼ活性に関しては、富山大学附属病院神経内科で検体処理後、特定の個人を識別できないようにした上で帝人ファーマ株式会社生物医学総合研究所薬理研究部に送付して測定する。上記で得られたデータと臨床情報（神経疾患名、病期、年齢、性別、罹病期間、重症度、治療内容等）を解析する。<b>また、新たなバイオマーカーとしてMRI検査や核医学検査における所見、解析結果や、画像所見とリンクした高次脳機能検査結果も追加する。</b></p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	<p>富山大学附属病院 脳神経内科 中辻裕司 帝人ファーマ株式会社 生物医学総合研究所 薬理研究部 開発薬理研究グループ統括 高橋良昌 大阪大学医学部脳神経内科 奥野龍禎 近畿大学医学部神経内科 宮本勝一 国立病院機構北海道医療センター臨床研究部 新野正明 国立病院機構富山病院 金兼千春</p>
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 脳神経内科 中辻裕司
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下

□

記の窓口で対応いたします。

電話 076-434-7309FAX 076-434-5033

E-mail brain@med.u-toyama.ac.jp

担当者所属・氏名 富山大学附属病院脳神経内科 温井孝昌